

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/08/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



60ドル台前半で売買が交錯する

NY原油先物相場は、1バレル=61.45ドルまで値下がりして6月2日以来の安値を更新した後、63ドル台中盤まで切り返す不安定な地合になった。需給緩和見通しの上値圧迫が続いたが、過後半はウクライナ情勢の先行き不透明感を背景に安値修正を進める動きも見られ、60ドル台前半で売買が交錯する展開になった。

8月15日に米露首脳会談が行われたことで、ウクライナ情勢を巡る各国の動きが活発化してる。米国とウクライナ、欧州の首脳は、和平合意後のロシアによるウクライナ再侵攻を阻止するため、「安全の保障」を巡る議論を活発化させている。トランプ米大統領は8月22日、和平が実現するのには2週間以内に分かるとして、ロシアとウクライナの双方に譲歩を迫っている。しかし、ロシアはウクライナとの首脳会談の予定はないとして、「安全の保障」の枠組みにロシアや中国も入れることを要求するなど、まだ先行き不透明感は強い。トランプ大統領は、ロシアの対応次第で制裁強化に踏み切ると警告している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月15日時点）は、原油が前週比601万バレル減、ガソリンが272万バレル減、石油精製品が234万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

需給緩和見通しで戻り売り優勢、ウクライナ情勢には要注意

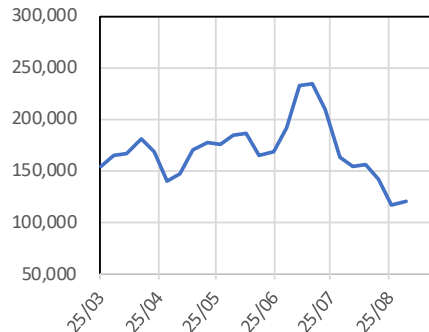
需給緩和見通しから戻り売り優勢の展開が続く見通し。世界経済の減速で中国などの石油需要の伸びが鈍化しているが、今後はドライブシーズン終了後の需要端境期に向かう。足元では製油所稼働率が高止まりしているが、今後は徐々にメンテナンスに入る製油所が増えてくる見通し。一方、石油輸出国機構（OPEC）プラスは8月に続いて9月も大規模な供給拡大を進める見通しであり、時間の経過とともに需給緩和リスクは高まる可能性が高い。概ね6月上旬の価格水準まで下押しされているが、支持線は60.00ドルの節目まで切り下がる。

注意が必要なのは、ウクライナ情勢だ。トランプ米大統領主導で和平合意を目指す取り組みが活発化しており、今週から来週にかけて各国の高レベル協議が続くことになる。前週は、和平に対するロシアの消極姿勢が目立ったが、トランプ大統領がロシア産石油に対する制裁の可能性を警告するような動きがみられると、買いが膨らむ可能性がある。また、有利な和平条件を引き出すため、ウクライナとロシアの双方の攻撃が激化していることにも注意が求められる。

また、前週は8月15日時点の米原油在庫が前週比601万バレル減の4億2,068万バレルとなり、6月27日以来の低在庫になっている。過去5年レンジ下限付近に留まっているため、さらに原油在庫を大きく取り崩すような動きがみられた際には、期近限月主導で買いが膨らむ可能性がある。

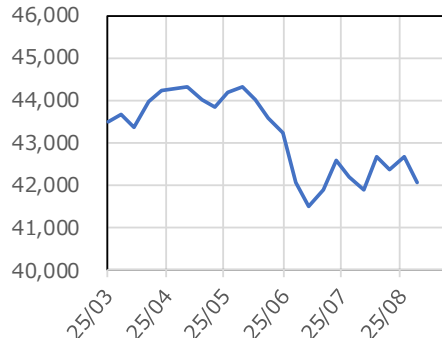
需給緩和見通しの値下がりを中心に、ロシアやイラン産原油の供給リスクを高める動きの有無が問われる地合が続く見通し。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



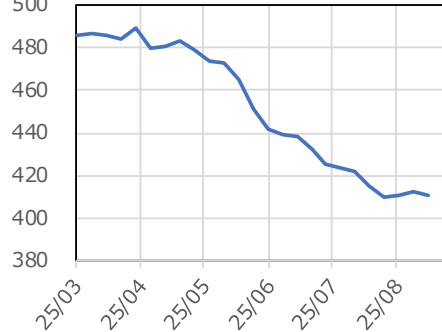
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

